社会医療法人松平病院 広報誌

アンダンテ

No. 41
2014.9

創立５０周年記念特別企画

院長インタビュー「創立５０周年に寄せて」
磯みゆき先生とのコラボレーション絵本紹介
デイケア遠足/七夕祭り
野外食
八戸白鷗ライオンズクラブ様よりテント寄贈
韓国アン・サンヒョン先生アニマルセラピー視察

http://www.matsudaira-hospital.or.jp/

松平病院の歩み

昭和39年11月　開院当時の外来棟

昭和39年11月19日、病床数108床、木造2階建てで松平病院としてのスタートを切りました。

松平名誉院長は「他人の2倍は努力しなければならない」という母の言葉を胸に『良い病院にしよう』と思うことが唯一の心の支えだったと当時を振り返ります。

◀ 開業当時の松平名誉院長

名誉院長が患者さんのために一筋に尽くす姿を肌で感じ、患者さんを思いやり、家族をいたわる心があってこその精神医療だと身をもってスタッフに教えてくれました。今後も各部署の壁に貼っている病院の理念「人間の尊厳と人間愛に基づく医療を目指す」と「企業は信念とともに若く自信とともに若くかつ希望をもつかぎり若い（サミュエル・ウルマン）。」を実践できているか自問自答しながら、今後もより良い精神医療の提供ができるよう努めます。60年、70年と地域の皆様と共に歩んでいけますように。

1963年（S38年）	1964年（S39年）	1984年（S59年）	1996年（H8年）	1997年（H9年）	1998年（H10年）	1999年（H11年）	2002年（H14年）	2005年（H17年）	2008年（H20年）	2011年（H23年）	2012年（H24年）
松平診療所開設（12月）	松平病院開設（11月）	新病棟移転（1月）	医療法人松平病院設立（8月）	精神障害者入所授産施設「ベル・エポック」運営開始（4月）	精神障害者地域生活支援センター「ベル・エポック」運営開始（4月）	精神障害者グループホーム「チェリーハウス」運営開始（4月）	「カフェレストラン茶居花」開設（4月） 精神障害者福祉ホームB型「エーデルワイス」運営開始（8月）	「ドッグガーデン茶居花」開設（11月）	共同住居「白樺荘」運営開始（10月）	社会医療法人松平病院　認可（12月） 福祉事業部門　障害者自立支援法に移行（3月）	特定相談支援事業運営開始（7月）

松平病院新築工事

平成25年9月25日、起工式が執り行われ、いよいよ建設が本格的にスタートしました。平成26年度中の改築移転を予定し、現在は３階部分まで工事が進んでいます。病棟からも毎日工事の様子をうかがいながら、完成を待ちわびる声が聞こえます。周辺にお住いの方には騒音や振動など何かとご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いします。

起工式の様子

着工から現在までの工事の様子をご覧下さい。

「創立５０周年に寄せて」　北條院長インタビュー

病院５０周年

現病院は老朽化、地震などによる脆弱化が進んでおり、修理費用も年々増加していましたので、この機会に新築をしようと考えたのが一昨年のことでした。ごらんのように現在、ほぼ順調に工事が進捗しており、来年の５月には新病院のお披露目ができるのではないかと思っております。建物(ハード面)だけはでなく、それにふさわしい内容を伴った病院を築いていけたらと考えております。

皆さんはマグネット病院という言葉をご存知でしょうか？１９８０年代にアメリカで生まれたものですが、マグネットつまり"磁石のように資質の高いスタッフをひきつける病院"ということです。マグネット病院としての主な条件は「よい(雇用)環境」と「よい患者治療、ケアを提供できること」という風に言われています。当院はマグネット病院と呼ぶにはまだ程遠い状況ですが、新築を機に少しでもマグネット病院に近づけるよう頑張って行きたいと思っています。ただ、建物や制度(ハード)がすばらしいものになったとしても、職員一人一人が「楽しく生き生きと自分らしく」働くことができなければ、良い治療・ケアには結びつきません。メディカルスタッフ不足をできるだけ早く解消して、マグネット病院を目指したいと思います。

精神科医療

ストレスに伴う心の病などの増加によって、精神疾患の多様化や軽症化が進んでおり、精神疾患が一部の人の特殊なものと特別視されていた時代から、今では誰にとっても身近なものへと精神疾患は変化しています。ここから見えてくることは、これまでの入院中心の治療からの変換が必須であり、様々な病態に適切に対応できる医療の質が確保されねばならないということです。国の進める「精神科医療の機能分化と地域移行」の流れは今後そのスピードを増すと考えられますので、当院でも在院日数の短縮化にこれまで以上に取り組む必要がありますし、入院重視から外来診療重視にシフトしていきグループホームなどの有効活用や訪問看護をさらに充実させていく必要があると感じています。

これまで

ゆったりとした診療ができると思って松平病院に来ましたが、今は休業中の先生方がいることもあって、以前の総合病院での診療並みに忙しい毎日でちょっと自分の理想とはかけ離れた状態となっています。なんとかしたいんですが・・・。ただ、看護師さんはじめ作業療法士さん、臨床心理士さん、精神保健福祉士さん、栄養士さんなどそれぞれの仕事に対する献身的な取り組みもあって非常に仕事のやりやすい職場だと感じています。皆さんにもっともっと感謝しなければならないと思っております。

北條院長先生へのインタビューは
次号(４２号)に続きます。

新病院完成イメージ

デイケア

６月に１冊の絵本が発行されました。

「ちょきちょきウサギとぎんいろキツネ」

作：おぎ　　絵：礒　みゆき

デイケアメンバーである作者のアイデアに、絵本作家の礒　みゆき先生のアドバイスと愛情あふれる絵が加わってとても素敵な絵本になりました。

＜作者のコメント＞

完成した絵本を始めて見たとき、とにかく嬉しさと感動で完成までの5年の歳月の長さが吹っ飛ぶ思いでした。初めは内容も単純で短かった僕の文章が磯先生の描く「ちょきちょきうさぎ」の可愛らしさ「ぎんいろキツネ シルヴィオ」の怪しい美しさに、まるで魔法をかけられたようでした。忙しいスケジュールの中、これほど美しい絵をつけてくれた磯先生と暖かく見守ってくれた皆様に感謝するだけです。

この本を手にとって最後まで読み、もしかして気に入ってくれた人に「ありがとう」という言葉を！

＜磯　みゆき 先生のコメント＞　あとがきより抜粋

松平病院で月1回朗読会をさせていただき約十年が過ぎました。月に一度日帰りで、東京から八戸への旅ですが、メンバーさんやスタッフの皆様とともに楽しい時間を過ごせる一日は懐かしい友人に会いに行くようなうれしさがあります。

おぎさんは読書が大好きで、以前からいくつかの作品を創作していました。その中のひとつがこの「ちょきちょきウサギとぎんいろキツネ」でした。プロフェッショナルとして誇り高いウサギと、残忍でずる賢いがユーモラスなナルシストのキツネのキャラクターが何ともいえない魅力的な作品です。そこで、おぎさんにその生き生きとしたキャラクターのきらめきをより引き出すためできるだけ文章をかりこみ展開をシンプルにし、童話としてまとめたらどうかとアドバイスすると彼は大変意欲的に取り組んでくれました。

五年という時間はかかりましたが、おぎさんの持ち味である“ユーモラスでちょっと切ない”物語が完成しました。

春の遠足

5/15、22に六ヶ所原燃PRセンター、六ヶ所村立郷土館、むつ小川原国家石油備蓄基地の3ヵ所を2班に分かれて見学しました。六ヶ所は八戸からは遠い場所にあるというイメージでしたが、移動中の車内から見るおいらせ町の自由の女神像、ウィンドファームや仏沼の景色を見ながら、道中も楽しい遠足となりました。

＜参加者の感想＞

・郷土館は昔の暮らし方、食事などの事が分かった。原燃PRセンターでは、食料の中にも放射線が含まれていること、放射線が紙一枚で止めることが出来ることがわかった。
（O.M 女性）

・この地球上に限られたエネルギーがあり、色んな形で自然に優しく生活していくことが出来ると知りました。（H.J 女性）

デイケア夏祭り2014

7/31にデイケア単独では初めての夏祭りを行いました。実行委員8名で話し合いを重ね、全員参加のゲームや輪踊り、お待ちかねの屋台では全員が交代で売り子を体験。まさに手作り!であったかい夏祭りでした。

＜実行委員の開会の言葉＞

みなさん、今日のために何日もかけての準備、お疲れ様でした。デイケアでの夏祭りは初めてです。みんなで協力して楽しみましょう。（K.T 女性）

＜実行委員のおわりの言葉＞

今日は皆さんお疲れ様でした。いっぱい楽しみましたか？今日この日まで実行委員を中心に協力して吹流し、屋台ポスター、看板などを作り上げて頑張りました。メンバーとスタッフが一緒にみんなで販売などしていい思い出になったことでしょう。
これからも皆でたくさんの思い出を作っていきましょう。（A.Y 女性）

野外食

作業療法科

今年の野外食は、階上町のふるさと河川公園にて「メンチカツカレー」を作りました。毎年合同で行っていましたが、今回は6月4日(水)3病棟　11日(水)2病棟　25日(水)１病棟で行き、カレー作り、公園散策、ゲーム、ドライブを楽しみながらの野外食でした。合同の野外食では、班の人数が多いこともあり「作る人」「見ている人」に別れてしまいがちでしたが、薪をくべる人、火加減の調整、カレー作りなど、分担しながら作っていました。

カレーに味が染み渡っていて美味しかった。おやつも用意してもらってたくさん食べれてよかった。ありがたかった。(K.S 女性)

カレーライスの具材が柔らかくなって美味しかった。公園はきれいなところだった。シーソーも滑り台もあってよかった。(S.J 女性)

普段はおかわりできないけど、野外食のときは２回おかわりして食べた。美味しかった。(H.S 男性)

青空の下で行ったグランドゴルフゲームが楽しかった。(K.K 男性)

うみねこのヒナが可愛かったけど、いっぱいいて驚いてしまった。(W.M 男性)

八戸白鷗ライオンズクラブ様からテントを寄贈していただきました

八戸白鷗ライオンズクラブ様からテント２張を寄贈していただきました。職員・利用者一同、ありがたく使わせて頂きます。いつもベル・エポックの活動にご理解・ご協力を頂き、当事業所の行事や地域活動に一緒に参加をして頂いております。

当事業所の活動について、ご理解を頂けることはとてもありがたいことだと思っております。今後もより一層のご理解・ご協力をいただけるように職員一同頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました。

アニマルセラピーの研修のために韓国から先生がいらっしゃいました

当法人で実施しているアニマルセラピーを学ぶために、韓国からアン・サンヒョン先生が来日されました。アン先生はソウル大学病院で家庭医学科医としてご活躍されており、韓国では他科の先生方とアニマルセラピーの研究会を発足させるなど自国でのアニマルセラピーの実践を目指していらっしゃいます。

韓国でも福祉施設などではアニマルセラピーが行われているそうですが、病院でアニマルセラピーを実践しているところはないために、今後は医療の分野でも活用できるようにしていきたいと話されていました。

8月30日から9月6日までの短い期間ではありましたが、韓国の医療事情などについて意見交換をする機会もあり、当法人にとっても有意義な時間を共有することができたと思います。

秋のミートフェア

2014／9／1(月)～10／31(金)

期間中は 15 時よりご注文いただけます。

オーストラリア産ラム肉の香草焼き

(ソルトブッシュ)

❊ セット内容
3点盛りオードブル
・スープ・パン or ライス
・ドリンク・アイスクリーム付

セット価格 2,500円

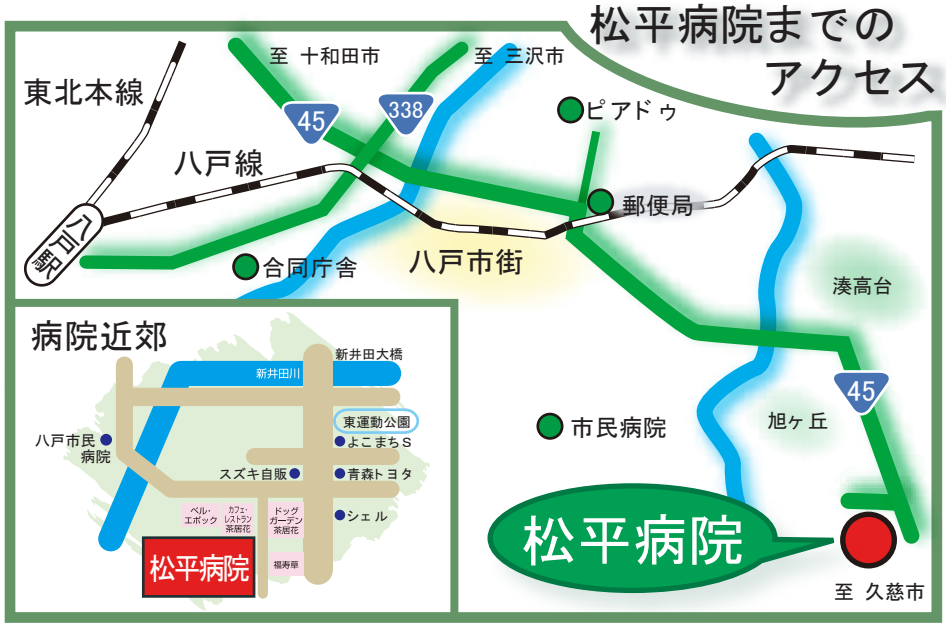
鴨肉のローストりんごの赤ワイン煮添えバルサミコ酢ソース風味

(マグレカナール)

❊ セット内容
3点盛りオードブル
・スープ・パン or ライス
・ドリンク・アイスクリーム付

セット価格 2,500円

■ お問い合わせは TEL：0178－25－9187　URL：www.chai-hana.com



八戸駅から八戸市営バス旭ヶ丘営業所まで（旭ヶ丘営業所行き）約35分
（料金：￥300）

旭ヶ丘営業所から出口平バス停まで（工業大学行き）約5分
（料金：￥150）

〒031-0813
社会医療法人　松平病院
青森県八戸市大字新井田字出口平17
TEL0178-25-3217
発　行　元　社会医療法人松平病院
発行責任者　北條　敬
編集責任者　横田　浩
編 集 委 員　前田　優子
佐藤　美佐緒
成田　ひとみ
田村　由紀子
高橋　加奈子
桐明　可奈
古戸　円香
植村　聡美
西野　朋恵
駒井　純基
工藤　正子
平舘　功至
長谷部幸恵

アンダンテ　41号
発行日　平成26年9月26日